

2023 12/26 ・ 2024 1/9 合併号

No.2201・2202

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



2024年の干支「辰^{えと}」をデザインした干支だるま。創業150年を超える「荒井だるま屋」（平塚市）では「運氣上昇」の思いを込めて製作された。



政経かながわ

2023 12/26・2024 1/9 合併号
No.2201・2202

contents

視点点描	3
元氣与えてくれる経営者	
講演録	4
社員がやる気になる瞬間をどう作り出すか 社会保険労務士 市島 徹	
特集	8
大谷翔平 1千億円移籍契約 ドジャースをなぜ選んだか	
経済双眼鏡	12
大阪万博、中止でええやん 膨らみ続ける経費、政財界の鈍麻	
政治双眼鏡	13
カリスマを失った公明党の行方 維新との関西対決、路線占う試金石に	
グリーン&ブルー	14
食料安保論議、従来思考を改める時	
馬場典子のNEWS箸休め	15
「普通の生活」をガザに	
サヘル・ローズ×リアルワールド	16
後ろには「現実」はない	
口福の源	17
しっかり噛んで年越しを	
くらし2024	18
24年度薬価改定 特許切れた先発薬 患者負担大きく？	
かながわTODAY 2024年の主な予定	20
神奈川景気データファイル	22

事務局だより

◇2024年1月定例講演会
1月17日(水)午後2時30分～4時
神奈川新聞社大会議室(横浜
市中区太田町)

講師：女流落語家
蝶花楼 桃花氏

◇2024年2月定例講演会
2月5日(月)午後1時30分～3時
メルヴェーユ(桜木町駅近く)

講師：浄土寺(三浦按針菩提寺)
住職 逸見 道郎氏

◇2024年2月特別講演会
2月14日(水)午後1時30分～3時
ロイヤルホールヨコハマ(横
浜市中区)

講師：世界最高齢のプログラマー
若宮 正子氏

◇2024年3月定例講演会
3月4日(月)午後1時30分～3時
ベイシエラトン ホテル&タ
ワーズ(横浜駅西口)

講師：ウエイズトヨタ神奈川
社長 宮原 漢二氏

◇2024年4月定例講演会
4月17日(水)午後1時30分～3時
ホテル、ニューグランド(山下町)

講師：ファンケル名誉相談役
ファウンダー
池森 賢二氏

視点 点描



元気与えてくれる経営者

2023年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、「日常」に戻った年だった。年末に忘年会で深酒した人も多かったのでは？ 県内では休止していた大規模イベントも各地で復活し、多くの来場者でにぎわった。

今秋、そんなイベントの一つに人手不足だからと応援スタッフとしてかり出された。同じように現

場に来ていたのが、経済部の取材でよく情報交換していた、ある自治体の職員で互いにびっくり。10年ぶりの再会をきっかけに先日、旧知の企業支援担当者らと集まった。深酒はしなかった。

「優れた技術を持つ元気な企業がたくさんあるので、ぜひ現場を見てほしい」と職員。そうした企業の経営者に会うと「こっちまで

元気になる」のは、行政も記者も同じだと、地域で頑張っている企業の話で大いに盛り上がった。実際、コロナ禍に取材した経営者は皆、不透明な状況で経営判断し、苦境を何度も乗り越えてきただけに、印象的な話が多かった。

湘南のあるメーカーの社長は10年前、事業転換したばかりでまだ新規事業が収益につながらない苦しい時期をこう振り返った。

「できるって自信しかなかったんですよ。お金がなくても何とか工夫してやろうって。一番ひどかったとき、平塚まで自転車で営業に行っていましたから。片道15^{キロ}。そういう前を向く気持ちだけは忘れなかったですね、今もそうですけど。車がなかったんで、電車代を惜しんだのもありますね。でも一番は、むち打つためです、自分に。追い込む感じで」

事業承継した運送会社を総合物

流企業に成長させた社長は、トッポの仕事の魅力をこう語った。

「やるもやらないも、自分の判断になるじゃないですか。何かを進めていきたいって思っちゃうタイプなんで、それをどうやっていいか。プロセスを組んでいく、シナリオを書いていくっていうのが好きなんです。次にこれをやるうってことを、どんどんできるって、すごくせいたくだなあと思ってます。楽しいですね、次は何をやるうかなって」

再会した職員の紹介で1月、「技術力はピカイチ」という精密加工を手がける町工場を取材できることになった。今度はどんな元気をもらえるだろう。記者の取材活動をサポートする編集総務部の仕事の合間に、2024年も県内企業の現場を訪ねていきたい。

(神奈川新聞社編集総務部長・

吉田 勝行)